

エポキシ工事業協会 平成 22 年度定期総会

(2010. 6. 24 開催)

エポキシ工事業協会は、6/24、平成 22 年度定期総会を開催し、事業計画を開催した。これは、最近週刊誌で取り上げられたエポキシ樹脂塗料硬化剤 MDA にも関連する。

詳細は、下記の新聞を参照してほしい。

◆水道産業新聞 7月8日(木)付

<h3>10年保証体制へ取り組み</h3>	<p>全エポキシ協 総会 専門技術者の再教育実施も</p>	<p>全国上下水道エポキシ工事業協会(会長 村上啓司・サンユレック)は6月24日、東京・日本橋のTKP日本橋ビジネスセンターで第22回定期総会を開き、22年度事業計画などを審議、承認した。</p>
<p>支援、日本コンクリート防食協会業務支援および各支部実技試験への参画などを図る。また、技術委員会では、JWARK 143規格改定作業(溶出性・浸出性の統合な</p>	<p>22年度事業計画として、業務委員会では、防食管理専門技術者の認定講習および認定既得者の再教育を実施するほか、</p>	<p>国家技能検定「強化プラスチック成形エポキシ樹脂積層防食作業」の業務</p>
	<p>村上会長</p>	<p>ど)を実施するほか、下水道施設の耐久性に関する各市町村および日本下水道事業団との共同研究、バイオマス関連コンクリート防食に関する東京工業大学との共同研究、エポキシ樹脂ライニングの耐酸性に関する長期耐久性測定などを行う。10年保証体制への取り組み(保険制度の導入など)は、両委員会共同作業になる。</p>

◆MDA 問題については、Water New Information にて掲載中 → [Check!](#)